

No.	設問区分 1現行プラン 2新プラン	ページ	項目・見出し等	(策定委員会提出用)意見等	備考
1	1	53	第2部 障害福祉計画 (4)安心で安全に暮らせるまちづくり	バリアフリー化とあるが、歩道がまだ整備が整っていないところが多い。車いすで自由に行動できるよう整備を進めてほしい。	
2	1	55	1 みんなが理解しあえるまちづくり (1)理解を深める活動の推進 ①広報活動(情報提供)の充実	「障がいのある人に配慮したホームページ(インターネット)・広報・市議会だより・「福祉きさらづ」・「障がい福祉のしおり」の作成・配布に努める」となっているが、「障がい福祉のしおり」を確認するためインターネットで検索したが出てこず、他市のしおりが出てくる。	
3	1	62	⑦精神障害にも対応したケアシステムの構築	地域移行支援が、「にも包括」の目的であるかのように受け取れる。誤解を招くのでは？表現不足。入院している人ばかりではない。	
4	1	66	(4)人権・権利擁護の推進 ③日常生活自立支援事業の推進	木更津市における日常生活自立支援事業の利用者数は、令和8年5月末時点で93名(認知症高齢者52名、知的障害者15名、精神障害者19名、その他7名)に上り、県内54市町村社協の中で6番目に多い状況にある。 更に今般の社会福祉法改正により、従来の「判断能力が不十分な方」に加え、「身寄りに頼れない高齢者等」が支援対象に追加され、支援メニューも現行の福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理から、入院・入所時のサポート、死後事務の支援等へと拡大される。 このように支援ニーズの多様化と増大が確実に見込まれる中、地域における包括的支援体制を確立する観点からも、市と社会福祉協議会が連携し、当該事業を持続的かつ安定的に推進するための運営体制の整備が喫緊の課題である。	
5	1	69	(2)就労支援と就労の場の拡充 ①就労に関する相談の充実	就労支援事業を展開する中で、障害者手帳所持者に対する支援体制は整備されつつある一方で、障がいの認定には至らないもののコミュニケーション等に不安を抱える、いわゆる「ボーダーライン層」の方々の一般就労は依然として困難な状況にある。 こうした制度の狭間にある方々が地域で孤立しないよう、「アウトリーチを含めた働きかけと相談」や「直ちに就労が困難な人への就労機会の提供」をより一層推進し、個々の特性に寄り添った切れ目のない相談・支援体制の強化を図る必要がある。	

No.	設問区分 1現行プラン 2新プラン	ページ	項目・見出し等	(策定委員会提出用)意見等	備考
6	1	73	(3)防災・防犯対策の充実	令和7年度のアンケート調査結果において、災害時に近所で助けてくれる人が「いない」と回答した割合が67.3%に上り、前回調査から4.0ポイント増加している。 地域コミュニティの希薄化が懸念される中、災害時に自力避難が困難な方の命を守るためには、公助だけでなく地域住民同士の「共助」の力が不可欠である。 社会福祉協議会としても、福祉関係者や地域住民と共に災害時ボランティアに関する研修や訓練に引き続き取り組んでいくが、平常時から当事者と地域住民(自治会や民生委員など)が顔の見える関係を築けるよう、地域ぐるみの実践的な防災体制の構築と啓発をより一層強化する必要がある。	
7	1	107	保健、医療(精神科以外の医療機関別)、福祉、介護、当事者、家族などの関係者ごとの参加者数	【質問】この成果、目標値の人数(54とか60)はどのような人数か。	
8	1	110	地域生活支援 成果目標、活動指標	【質問】強度行動障がい有する障がいの者の状況や支援ニーズの把握とは。	
9	1	124	(7)手話奉仕員養成研修事業	この事業参加者に対して、全て終了者に対する問題があるので、修了者の対策も必要ではないか。	
10	1	129	1 木更津市障害福祉計画策定委員会名簿等	君津健康福祉センター所属の委員について、区分が「学識経験者」となっている。一方、ホームページの障害福祉計画策定委員会の委員一覧では区分が「関係行政機関」となっている。「学識経験者」と「関係行政機関」ではかなり意味合いが異なるので、委員の推薦依頼をいただく時点で明確にさせていただきたかった。なお、今回推薦後送付された第7次の委員名簿では「学識経験者」となっていた。	
11	2			コミュニケーション支援(意思疎通支援事業)について、聴覚障害者のみの申し込みなのか。一般の申し込みについてのことも全てなのか。	

No.	設問区分 1現行プラン 2新プラン	ページ	項目・見出し等	(策定委員会提出用)意見等	備考
12	2			木更津市障がい福祉に関するアンケート(令和7年7月23日～8月15日実施)の自由回答をみると、受けられる福祉サービスの情報や一覧表、冊子を求める意見が複数あった。ペーパーレスが推奨されるなか、紙の資料がほしいという人も一定数いるため、「障がい福祉のしおり」は障害者手帳交付時に配布するだけでなく、情報をアップデートできるように最新版をホームページから印刷できるようにしてはどうか。	
13	2			家族会としてのお願い、以下の内容の具体化をしてください。 ・重層的な支援体制(イメージ図記載)は、家族にとっては、必要な時に適切な支援を受けられる体制にしてほしい。 ・未治療や治療中断、病識の欠如など様々な要因による当事者、家族が孤立に陥るという課題がある。→家族支援、家族交流の必要性 ・重症化させない相談支援体制の充実 ・三障がい一元化により、精神障がいを知的、身体と同じスケールで語る傾向が強いため、精神障がいの特性、揺らぎや変動しやすさ傷つきやすさなど、特性考慮 ・(私の弟の場合)一人住まいしているが、病識が弱いため薬も飲んだり飲まなかったり、体重は増えるばかり、身体的にも危険。訪問看護を依頼。	